



創作感字で二十四節気 (にじゅうしせっき)

最近は、異常気象のせいで季節感なくなってきた。暑中見舞いを出すとか、お中元の時期だとかいう、昔ながらの習慣もなくなってきた。かつてのような季節感のある暮らしを楽しみたいと思い「二十四節気」というものをひも解いてみた。二十四節気は、漢字二文字であらわすが、それを合体して一文字・創作感字を創ってみました。季節を感じる感字・・・かな？

靖 立春 りっしゅん	雨水 雨水 うすい	虫丸啓 啓蟄 けいちつ	春 春分 しゅんぶん	潮 清明 せいめい	雨穀 穀雨 こくう
夏 立夏 りっか	小満 小満 しょうまん	芒種 芒種 ぼうしゅ	夏至 夏至 げし	小暑 小暑 しょうしょ	大暑 大暑 たいしょ
秋 立秋 りっしゅう	処暑 処暑 しよしょ	白露 白露 はくろ	秋分 秋分 しゅうぶん	寒露 寒露 かんろ	霜降 霜降 そうこう
冬 立冬 りつとう	小雪 小雪 しょうせつ	大雪 大雪 たいせつ	冬至 冬至 とうじ	小寒 小寒 しょうかん	大寒 大寒 だいかん



季節は太陽の動きが影響します。日照時間が最も長い「夏至」と最も短い「冬至」、さらに昼夜の時間が同じ長さになる「春分」と「秋分」で4分割、それらの間に「立春」「立夏」「立秋」「立冬」を入れて8分割、その8つをさらに3等分して、1年を24等分し、約15日ごとの24の節気に分けたものです。中国で考案され、暦とともに飛鳥時代(600年代)の頃に日本でも取り入れられました。「穀雨」「芒種」「雨水」「啓蟄」など農作業をはじめ生活、天候や生き物の様子で表され、季節の目安とされてきました。ちなみに、暑中見舞いの時期は、二十四節気でいう小暑(7月7日頃)から立秋(8月7日頃)前までとされます。

身近な言葉や事柄の創作感字

	<p>暑中見舞い</p>		<p>猛暑</p>		<p>無駄の多い無駄</p>		<p>レインコート</p>
	<p>闇に聞こえる音楽</p>		<p>音楽を口遊ぶ</p>		<p>イヤホン</p>		<p>問うと即答するチャットGPT</p>
	<p>十人十色</p>		<p>七色の虹</p>		<p>才色兼備</p>		<p>たかく高い</p>
	<p>かけ算</p>		<p>わり算</p>		<p>たし算</p>		<p>ひき算</p>
	<p>そろばん</p>		<p>破算ばかりの算盤</p>		<p>どんぶり勘定</p>		<p>ケチ</p>
	<p>弱肉強食</p>		<p>表裏一体</p>		<p>十月十日</p>		<p>ウイルス</p>